

玉井小だより

平成28年2月15日
大玉村立玉井小学校
TEL (48) 3302

発行者 校長 佐藤一男

子供たちがあいさつ運動を続けています

2月に入り、あいさつ運動の担当が、4年生、3年生と下の学年においてきています。今週は2年生が昇降口に立って、「おはようございます。」「インフルエンザが流行っています。マスクをしましょう。」と元気に声をかけています。

2年生には長すぎるたすきですが、誇らしげに胸をはってあいさつをしています。6年生の運営委員が目立たないように面倒を見てくれています。とても心あたたまる光景です。



【全校生で取り組んでいます】

『全校生で取り組むあいさつ運動』のスローガン

『あいての顔を見て
心こころをこめて
あいさつしよう！』

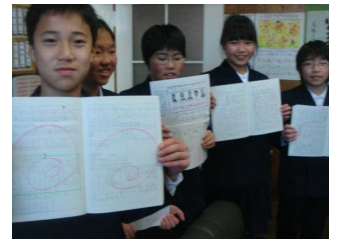
6年生の「自学ノート」

6年生の「自学ノート」(家庭での自主学習ノート)です。子供たちは、「学力テストで苦手だったところの問題を覚えよう。」や「日本の世界遺産を調べよう。」といっためあてを自分で決めて、復習や予習などの自主学習に取り組んでいます。どのノートを見てもしっかりと書いた字で書いています。「書く」ことで学習したことはしっかりと身につきますし、「書く」ことは考えることそのものでもあります。この自学ノートが、すでに7冊になった子もいます。子供たちは本当にしっかりと勉強しています。

自分で進んで勉強する習慣が身につけている子は、中学校へ行ってもしっかりと勉強するでしょうし、社会に出ても何とかして自分の道を切り開いていくに違いありません。



【6年1組の自学ノート】



【6年2組の自学ノート】

信頼できるみなさんとの関わりを通して

2月も4年生の算数の授業に保護者の方が参加してくださっています。授業に参加してくださった保護者の方から、次のようなお手紙をいただきましたので、紹介します。

(裏へ続きます)

算数のボランティア、大変お世話になりました。

まず、「楽しかった。」というのが一番の感想です。

実際に授業に参加させていただくと、自分の子供、またクラスの子供たちの苦手な部分がしっかりと見えてきました。子供に適切に声かけができそうです。勉強だけでなく、子供たちが、学校生活をしていく上で、学校と父兄の連携は不可欠なものだと感じています。改めて、今回参加させていただいて、それを痛感しました。

また、低学年の大切さを感じました。まだ、兄弟がいるので、しっかりと学習させていきたいと思います。

大変いい経験をさせていただきました。ありがとうございました。

「生きる力」とか「生き抜く力」と言われる力は、多様な人々と関わりながら、様々な経験を重ねていく中で育まれるものだと言われています。地域社会とのつながりや信頼できる大人の方々とのたくさんの関わりを通して、子供たちは心豊かにたくましく成長していきます。授業参観やなわとび大会などの行事の際はもちろんですが、普段の授業の様子も是非、見たり、参加したりしていただきたいと思っています。

談話室、自由にお使い下さい

学習参加に来てくださる保護者の方から、「次の授業までに少し時間があるので、控室のような場所があればありがたいのですが・・・。」というご意見をいただき、考えておりました。

すると、國分先生と教頭先生が談話室をきれいに片付けてくれました。少し狭いですが、日当たりが良く、明るい部屋です。みなさんで休憩したり、情報交換をしたりするなど、いつでも自由にお使い下さい。談話室は、小学校の玄関を入ってすぐの部屋です。



【談話室がきれいになりました】

お知らせ



【チェーンをかけました】

先にお知らせしましたように、2月19日（金）から当分の間、校門（体育前）のところにチェーンをかけ、施錠することにしました。これまでに何度か、不審な車が無断で校庭に入るといったことがありました。現在も校庭にタイヤの跡が残っている状態です。

学校開放等で使用するときも、一手間かかるようになってしまい、面倒をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。不明な点等があれば、いつでも学校にお問い合わせください。